

大賞に輝くのは一。群馬イノベーションアワード(GIA)2017のファイナルステージが12月2日午後3時から、前橋市のヤマダグリーンロード前橋で開かれ、3部門のファイ

ナリスト15組がビジネスプランや事業実例をプレゼンテーションする。過去最多となる185件の応募の中から1次・2次審査を経て選ばれ、大賞を競い合う15組を紹介する。

ビジネスプラン部門 高校生の部



地域の「宝」をお届け！
～情報発信源はみなまち珈琲～
利根商業高校3年、1年
千木良優斗、川端雄哉、生方優奈



おもいで工房
～思い出を形に～
勢多農林高校3年、2年
フードバイオ研究部
新保優香、藤井美優、田村千夏



食物アレルギー患者の自由な外食を手助けする「FREAT」
中央中等教育学校5年
奥谷哲郎



カラオケでお洗濯?!
「カランドリー、って何？」
利根実業高校3年
食品文化コース
大塚菜々実、原沢藍子



超音波・音楽を利用した生育調整と防虫を行う機器の開発
中央農業グリーン専門学校2年
松沢尚樹



人を繋ぎ、意思(will)を紡ぐ「ウィル・モール」
共愛学園前橋国際大学
村山セミナー3年
工藤龍広

ビジネスプラン部門 大学生・専門学校生の部

ビジネスプラン部門 一般の部



適正配車システム「福祉Mover」を活用して第3の交通網の構築
株式会社エムダブルエス日高
太田テイトレセンター
松本 博



直感で選べる！
デザイナーショールーム
グラフィックデザイナー
馬場早苗



世界の一人旅をもっと豊かにする「ツレタビ」
コピーライター
星野智昭

スタートアップ部門



ジャパスタリアー
国産生パスタブランド
吉田製麺
吉田幸二



ビデオ通話型シニア相互会話サービス「EMOTOMO」
NPO法人ソニリッサ
萩原涼平



弁天通りから全国へ！
ランニング文化でアーケードを活性化！
じぶんカンパニー株式会社
池田道成

イノベーション部門



美容・理容シザー(はさみ)買取専門店
株式会社プリマベラ
萩原隆介



ヒートアイランドを「IoT樹木鉢」が救う
有限会社三田三昭堂
三田英彦



本格直火炊き「冷凍分福茶釜めし」の開発
株式会社あぶらや
延山知正

精鋭15組がプレゼン競演 GIAファイナルステージ



建設的に意見を交わした左から吉川さん、大森さん、糸井さん、新井さん、石川さん、串田さん

12月2日15時ヤマダグリーンロード前橋 入場無料



人口減少食い止めを糸井

糸井 青年会議所理事
長などを務め、高崎市を中心に30年以上まちづくりに関わってきた。日本が生活するようになる。大森 来年で130周年



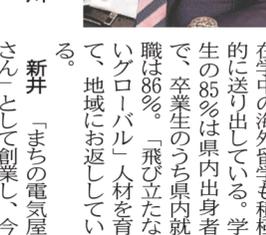
地域再生



新井 「まちの電気屋さん」として創業し、今年で60年目を迎えた。私も「電気屋の娘」として

新井 人口減が続く。そこでIoTを取り入れた家電が人手不足の改善に大きく役立つ。中でも高齢者がスマートフォンを持つことで、テレビやエアコンなど家電の操作ができた。親しい人のコミュニケーションに活用できる。これならたとえ体が動かなくなっても、以前の生活の質が保てる。シニア層は新しいものを遠慮しがちだが、積極的にお手伝いしたい。

愛される企業目指して



校、大学までを擁する県内唯一の総合学園。重きを置くのは地域との関わり。学びの場は学内にとどまらないうえ、県内企業や自治体などで4カ月インターンをする。単位を認めるとして、在学中の海外留学も積極的に送り出している。学生の85%は県内出身者で、卒業生のうち県内就職は86%。「飛び立たないグローバル」人材を育て、地域にお返ししている。



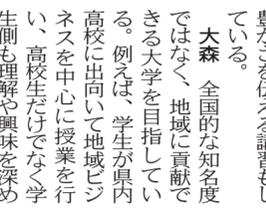
生まれ、地域の皆さまに理をしていくと、よく生活が、地域の皆さまが元気な暮らしが実現する。訪問介護事業を始めたのは、その家を訪問して家電修理がヒント。最初は「電気設備や空調などの建設の中で設備工事の部分を担っている。主に浄水場の施設など事業の中枢を社会インフラ整備に置いている。企業と地域の関わり方は大きく二つある。仕事を通じて関わることと、仕事から得た利益を還元すること。当社はインフラに軸を置き、地域の生活、生産活動の根拠を支えている。水と電気は地域に不可欠。安は、安心を当たり前に提案して、私で4代目にならなものは少ないが、社会にも貢献できる。



「ニーズ見極め世界貢献 吉川」
顧客、社員、地域の満足を追求する。足度でナンパーワン企業を目指して掲げている。地域の仕事を大規模に買取り始めたところ、大行列ができた。年間購入する250万着のうち、店で売れるのは50万着。残りはマレーシアを経由し、世界56カ国で販売される。日本製の古着は品質が高いため、ニーズを見極めることで世界にも貢献できる。



「逆張りの発想」
吉川 「逆張りの発想」
として、ベガサス球団を通して地域貢献すると決めていく。地域への思いを強く持つ、「もう他には頼めない」という存在になれば強い。



「地域貢献」
糸井 「地域貢献」と簡単に言うが、実際にその企業が貢献できているかどうかを地域の人たちはよく見ている。「ここが駄目になったら、他の場所に行けばいい」というヤドカリみたいな企業は評価されない。地域に深く信頼されたい、簡単にはつぶさない、周囲もつぶさない、うちは会社として、社長個人として、ベガサス球団を通して地域貢献すると決めていく。地域への思いを強く持つ、「もう他には頼めない」という存在になれば強い。